

## 学校新聞を作ろう!

学校新聞作りは子ども達が日常生活における様々なスキルを実践する絶好の機会です。「新聞を作る」という実際の活動を通して子ども達は次のようなスキル(能力)を実践することができます

- コミュニケーション能力
- 読む力
- 計算する力
- 文章の能力
- 写真撮影の技術
- 社会的な交流を持つ力

### ●子ども達と学校新聞を作る前には以下の作業が必要です。

1. どんな記事を作るか決定します。学校やクラスでまもなく開催される面白いイベントやニュース等も内容として考えます。

特集記事、ビジネス、スポーツ、料理、芸術・娯楽、イベント、マンガ・

2. 子ども達を支援するコミュニケーション機器や身の回りの機器を動かす製品を準備します。

〈準備する製品の例〉

#### 【コミュニケーション機器】



ビッグマック



ステップバイステップウィズレベル



トークトラックプラスウィズレベル



アイトーク

#### 【身の回りの機器を動かす製品】



パワーリンク2



スイッチ



スイッチラッチアンドタイマー



BDアダプター

### ●生徒達にこれからする新聞作りという活動の流れと役割を説明します。今回紹介するのは実際に生徒が作ったアイスクャンデーの人気調査の記事です。

#### 1) 作成する記事の説明

教諭が生徒達にこれから作る記事の説明を行ないます。

教諭は材料、使用する支援機器(コミュニケーション機器、身の回りの機器を動かす製品)、作り方を説明します。



#### 2) 準備

生徒は作り方を声に出すか、またはVOCAを使って読み上げます。

アイスクャンデーはソーダ味とオレンジ味の2つ作り、どちらのアイスクャンデーの人気の高いか学校内の人へインタビューします。

#### 3) 情報の収集&インタビュー

情報収集するためには相手から答えを引き出すインタビューが欠かせません。生徒は支援者(支援者、ボランティアスタッフ)と共にインタビュー内容を考えて決定します:

〈インタビューのメッセージ例〉

「学校新聞のアンケートに協力してください。2種類のアイスクャンデーをまず食べてみてください。」

「どちらが美味しかったですか?」

「ご協力ありがとうございました。」

子ども達の出来ることに関わらず、VOCAを使って自然な設定の中で主体的なコミュニケーションの機会を持つことができます。

#### 実際のインタビュー状況

ステップバイステップを使用してインタビューをしています。インタビューの質問への答えは支援者が書き留めるか、入力できる生徒が行います。



#### 情報収集の方法として・・・

☆ 質問の答えを集める方法としては、投票ボードを準備したり、VOCAで答えてもらう方法もあります。

☆ テープに録音すると情報が正確だったか、後で確認する大切な資料となります。



このインタビューを通し、子ども達は他者とのコミュニケーションを学びます。

インタビューを終えた後は、記事に使う写真を撮らせてもらうようお願いをします。

「新聞に使う写真を撮らせて欲しいんですが、いいですか？」  
「ありがとう。では3つカウントしてからシャッターを切ります」  
「はいはい、笑って笑って～、1,2,3!」

ステップバイステップウィズレベルを使うと言葉の録音とシャッターを押す操作が簡単にできます。



#### 4) 見直し

記事のために収集した情報を見直します。集めた情報のどの部分を記事に実際に使用するのか決定します。

#### 5) 記事作成／編集

実際に記事を書いていきます。個々の生徒が最もしやすい方法で記事を作成します（例：ペンと紙、コンピュータ、シンボルやイラスト・絵を切って貼る等）。

シンボルなどをハサミで切って貼った記事



スイッチと電動はさみでシンボルを切っています



#### 6) 構成

コンピュータで記事の中の文章や写真の位置を決めていきます。

◆コンピュータを使用せず、教諭が以下のような書式を作成し、生徒が記入することでも構成することは可能です。

どっちのアイスが勝ったの？  
私達はソーダ味とオレンジ味の2種類のアイスのどちらが人気があるか学校の皆にインタビューしました：  
\_\_\_\_\_名にインタビューしました。  
\_\_\_\_\_名はソーダ味が好きでした。  
\_\_\_\_\_名はオレンジ味が好きでした。

#### 7) 印刷・仕上げる

- コピーする：数字や認知、コミュニケーションのスキルの実践にも繋がります。
- ページ順に並べる：紙を一枚ずつ取ってページ順に並べます。巧緻運動の発達の機会にもなります。
- ホッチキスで留める：スイッチと電動ホッチキスを使って印刷された新聞を留めていきます。一番重要な最後の仕上げの役割を持つことで生徒は誇らしい気持ちを持って取り組むことができます。



#### 8) 配布する

職員室も含め、各教室に生徒が完成した新聞を配布します。家族にも発送されます。



#### 9) 完成のお祝い

新聞が完成したお祝いをします。障害を持つ子ども達は、達成したことに対する称賛が必要です。褒めることはさらなる意欲に繋がります。



## 学校新聞プロジェクトで得られるもの

- ・ 現実の（実生活の）、意欲を起こさせる活動の中でコミュニケーション、参加の機会を実現する
- ・ 教諭や学校職員／生徒との社会的交流の増加
- ・ 生徒の積極性を伸ばす
- ・ 家族の喜び

すべての子ども達が最大限の可能性を引き出すスキルを高めるには、現実の意欲を持てる活動へ関わるのが大切です。